



右は西本願寺御影堂。左が東本願寺御影堂。東本願寺のお堂の畳みは正面に向かって縦に敷いてある。



東本願寺は、京都駅を出て烏丸通を北に5分ほど歩いた所にあります。駅から向かうと、まず阿弥陀堂門が見えてきます。この門をくぐって境内に入ると、正面に阿弥陀堂が、そして右手に御影堂が目に入ります。お堂の配置が西本願寺とは左右逆になっています。

1864年(元治元年)の禁門の変による兵火で境内の建物は全焼しましたが、その後、両堂は再建されました。

本願寺の両派分立

いただいた『東本願寺のパンフレット』に、東西分派について簡潔にまとめられていたので引用します。「・・・1592(文禄元年)本願寺第11代の顕如上人が没すると、その跡を長子の教如上人が継職されます。しかし翌年、時の権力者豊臣秀吉より隠居を命じられ弟の准如上人が本願寺宗主を継職。この教如上人隠居の背景には織田信長と本願寺が10年にわたり争った石山合戦の

終結に関する家臣間の軋轢、教団内部の分裂がありました。秀吉の死後、関ヶ原の合戦前後より教如上人は徳川家康との関係を強め、1602(慶長7)年には家康から烏丸六条の地を拝領し、ここに本願寺より東に寺を分立したのです」

パンフレットには「石山合戦の終結に関する家臣間の軋轢、教団内部の分裂」とありますが、もう少し詳しく説明すると、信長との講和を受け入れた顕如上人の大坂本願寺退去派と、信長との徹底抗戦をと考えた教如上人の籠城派との対立が背景にありました。

そうした歴史がある東西本願寺ですが、京都市民は西本願寺を「お西さん」、東本願寺を「お東さん」と呼び親しんでいます。

それにしても暑いですね・・・

9月上旬、所用で京都を訪れ、酷暑の中、東西の本願寺を巡りました。西本願寺は慣れ親しんだ場所ですが、東本願寺には新鮮さがあります。皆さんもぜひ東西本願寺を参拝してください。

法要・行事予定

◎報恩講法要

日時：11月23日(日)朝席・昼席
講師：長岡正信師(呉市海岸 西岸寺)
※お斎(軽食)をご用意します

◎ヨガ

10月15日(水)、11月19日(水)



西本願寺阿弥陀堂